

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 9月の敬老の日を前にお呼びした医療法人社団・慶成会会長の精神科医、大塚宣夫先生は認知症に関して「世間で認知症対策として、

やれ手先を頻繁に使えとか、歩くのがいいとか言われるが、高名なピアノリストで認知症になった人はいくらでも知っている。それより健康なうちにやりたいことはすぐやりなさい」と、予防ばかりに目が行き過ぎる盲点を話されました。

8月の新会員をご紹介します。上杉俊隆・東洋製缶HLD常勤監査役、海老敏幸・出光興産執行役員、中村憲治・日本甜菜製糖社長、廣瀬修・日本たばこ産業法務部長、柳田茂・農林中

金総研専務です。

10月の講師は石橋湛山賞受賞講演が2名で松元雅和・関西大学准教授、白井聡・文化学園大学助教、ほかに星浩・朝日新聞特別編集委員、熊野英生・第一生命経済研究所エコノミスト、辺真一・コリアレポート編集長です。

◆中部◆ 名古屋圏で知られる夏祭り、「ど真ん中祭り」(通称どまつり)は名古屋風サンバカーニバル。来場者200万人で毎年大賑わいです。9月講演者の共立総研・江口氏は名古屋再開発の鍵はミニ東京化する名古屋駅前より、どまつりで賑わう栄地区の活性化が不可欠で、新型路面電車の新設等が必要と指摘していました。10月の講師は国際エコノミストの今井激氏と森本敏・拓殖大学特任教授です (日暮良一)